

【トルコ・シリア大地震】 トルコの災害支援のため、国際緊急援助隊医療チームの一員 として、看護師2名を約2週間派遣しました



左から、山崎事務局長、佐藤看護部長、
小暮副看護師長（派遣）、関根主査（派遣）、
大塚病院事業管理者、國本院長



写真提供JICA

出発に際して管理者より、報道で、余震が続いているうえ、雨や雪が降りやすく
気温が低いと聞いている。自身の健康管理にも十分注意するように、との話が
ありました。



震源地に近いトルコ南部の町で、テントをつないだ野営病院を職業訓練校の駐車場内に設け、全国の病院や保健所などから集まった70名余りで活動しました。

患者さんのほか、病院近くに避難されてきた方が日本語とトルコ語で「ありがとう」と書かれた紙を持って来てくれるなど、感謝の声が複数届きました。